

USA Regionals 2017 / USA School&College Nationals 2017 競技規定 -Show Cheer-

赤字: Regionals/Nationals 2016からのルール変更・追加
青字: 表現のみの変更

1. 出場資格

- ① 中学校・高校・大学などの学校団体のチームであること(学校名でのエントリーが必須)
※学校から承認を得ている部活動もしくは団体であり、出場選手は2017年3月31日まで在学していること
- ② 2016年4月2日時点の学年(年齢)で構成されたチーム(性別不問)であること
- ③ チームのメンバー構成が該当する編成と部門を選択すること
- ④ 学校団体に限り、同一の学校から同一部門にエントリーできるチーム数は3チームまでとする
- ⑤ 1人が同一編成・同一部門の2チームにエントリーすることはできない(異なる編成であれば、同じ部門にエントリー可能)
- ⑥ 5名以上36名以下で構成されていること

2. 編成・部門・人数区分

「編成」とは …年齢や学年に応じたチーム構成のこと
「部門」とは …演技ジャンルのこと (Pom部門、Jazz部門など)
「人数区分」とは…人数に応じた区分のこと (Small、Largeなど)
※人数区分の有無は部門により異なる

<例> 大学編成 Pom部門 Small
↳ 編成 ↳ 部門 ↳ 人数区分

◆各大会において編成及び各部門のエントリー数が少ない場合は、それらをまとめて**オープン部門**とする場合がある
審査は各部門の内容に準じて行い、オープン部門内で順位が決定する

<編 成>

中学校編成	全員が同一学校の中学生であること
高校編成	全員が同一学校の高校生であること ※中高一貫校で中高生が同じチームで出場する場合は、高校編成にエントリーすること
大学編成	全員が同一学校の大学生であること ※短期大学・専門学校は大学編成に含まれる

<部 門>

部 門 名	特 徴	ガイドライン
Show Cheer - Novice部門	編成毎に規定されたタンブリング・スタッツの 難度制限の範囲で行う演技	『AACCA 小中高チーム安全規約』 『AACCA 大学チーム安全規約』 『難度規定』
Show Cheer - Advance部門	編成毎に規定された最高難度のタンブリング・ スタッツが実施可能な演技	『AACCA 小中高チーム安全規約』 『AACCA 大学チーム安全規約』 ※中学校編成は『難度規定』も参照要

※詳細は『AACCA安全規定』『難度規定』を確認し、自チームの個々の選手とチームとしての能力レベルを考慮し、いずれかを選択すること

<人 数 区 分 >

1) Show Cheer部門では、人数区分の設置はありません

2) **ただしエントリー数が多い際には、公正な審査実施のため人数に応じて細分化される場合がある**

【例:高校編成 Show Cheer-Novice部門 A (5~20名)/高校編成 Show Cheer-Novice部門 B (21~36名)など】

※分割される人数は部門のエントリー数によって変動する

※表彰は分割後の区分毎に行う

3. 演技内容

- ◇ 使用楽曲は事前に歌詞内容を確認し、大会参加指針に沿って、適切であるかを見極めること
大会当日に大会運営側から使用楽曲の歌詞内容について確認要請があった場合には、
その場で歌詞内容を確認できる資料(外国語の場合は、訳詞・原文の両方)を提出して頂きます。
尚、訳詞内容のみならず、下品なスラングの入った楽曲の使用は禁止です。
- ◇ 音楽や振り付けは、スポーツシーンに合った内容で行われ、演技はすべての観客のために
適切かつエンターテインメント性に富んでなければならない
下記の内容に該当する場合は、減点チェックシート上の「演技内容」において減点となる場合がある
1. 振り付けにおいて紛争や抗争をイメージさせる内容
2. 人を威嚇するジェスチャー
3. 不快感を与える演出やメイクアップ
- ◇ 各編成で定められた、『AACCA安全規約』『難度規定』の内容に適した演技構成とすること

	中学校編成	高校編成	大学編成
AACCA 安全規約	AACCA 小中高校チーム安全規約		AACCA 大学チーム安全規約
難度規定	中学編成 難度規定	高校編成 難度規定	大学編成 難度規定

- ◇ チアリーディングの要素(アームモーション、スタッツ、タンブリング、コール、ダンス、ジャンプ等)を組み入れた構成とすること
- ◇ 演技内に1箇所はコールパートを含めること
観客参加型のスタイルが望ましい(サインボード、スペルアウト、Crowd Response Cheer 等)
- ◇ 音楽使用可能時間は以下の通り
◆中学校編成 / 高校編成 : **1分30秒以内** ◆大学編成 : **1分45秒以内**

【Show Cheer部門 音源に関する注意事項】

2曲に分けて収録する際は以下の内容に従って音源を作成してください。

注1) 1曲目に使用する音源はトラック1へ、2曲目はトラック2へ収録してください。

※1曲目に使用する音源をトラック2に収録した場合、トラック2が終了すると音楽デッキが一度停止します。
再度CDを読み込むのには時間がかかる為、トラック1に収録した2曲目がすぐに流れない可能性があります。

注2) 1曲目の最後に10秒ほど空白を入れて収録してください。(2曲目がすぐに流れるのを防ぐため)

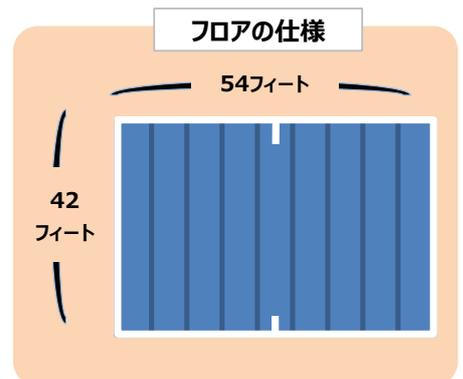
- ◇ 手具・小道具は、フラッグ、バナー、サインボード、ポンポン、メガホン、カットした布のみ使用可

4. 衣装・身だしなみ

- ◇ 学校応援に適したユニフォームを着用
- ◇ ユニフォームにアクセサリやユニフォーム以外の衣類を着用するのは禁止
- ◇ **中学校・高校チームは、直立(腕を下ろした)姿勢で腹部まで覆われた衣装を着用すること**
出場部門(全競技部門、審査対象外部部門も含む)に関わらず、このルールは適用される(大学チーム以外)

5. 演技フロア

- ◇ 奥行42フィート(12.8m)×幅54フィート(16.5m)のチアマット上となる
(フロア内の前後にセンターの印あり)
- ◇ スタッツおよびタンブリングはチアマット上で実施すること
- ◇ 演技に無関係なアイテムの演技フロアへの持ち込みは禁止
【例】チームのぬいぐるみ、手具として使用しない小道具など
- ◇ メンバー全員で演技フロアに入場し、演技中の出入りは不可
- ◇ 演技者以外のフロアへの立ち入り及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
【例】演技者以外の手具・大道具の設置補助や選手への指示出しなど



6. 演技時間

- ◇ 演技時間は、1分45秒以上 2分30秒以内 とする
- ◇ 計測方法は、音楽または動作の開始をもって開始し、音楽・動作の両方の完了をもって終了とする
- ◇ チーム名が読み上げられたら、メンバー全員で速やかにフロアに入場すること
- ◇ フロアへの入場・退場は、合わせて30秒以内に速やかに行うこと

7. 演技の中断・再演技

- ◇ 運営側の問題(音響機材や施設の不備・故障など)や不測の事態で演技が妨げられた場合、改めて最初から1曲通して演技をすることができるが、審査は演技中断以降の部分のみが対象となる
- ◇ チーム側の問題(道具の不備やチームの責任による障害など)が発生した場合については、チームは演技を続ける必要がある
場合によっては、チームは再演技の申請ができるが、その場合は、「演技順の変更の申し出」として減点3点が課せられる
この再演技の場合は、1曲通しての再審査となる
- ◇ 怪我が原因で演技が中断してしまった場合、改めて最初から1曲通して演技することができるが、審査は演技中断以降の部分のみが対象となる
チームの判断で辞退することもできるが、怪我の程度によっては大会運営側が再演技を認めない権利を持っている
- ◇ 再審査が演技中断以降のみの場合も、演技は予定の内容を1曲通して行うこと(怪我の影響部分は除く)
審査は、ジャッジによって決定された怪我・演技中断が発生した時間から再開する
演技中断までに発生した減点はすべて反映される
原則、演技は開始からすべてのスキルを実施しなくてはならないが、すべてのスキルが行えなかった場合そのチームの得点をどのように取り扱うかについては、大会運営側の判断によって決定される
- ◇ すべての再演技の判断(実施の有無・タイミングなど)は、大会運営側が行い、チームの承諾を得て行うものとする

8. 審査

地区大会/Regionals

- ◇ 審査員の平均点がチームの得点となる
- ◇ 減点があれば平均点から引いた点数が得点となる

全国選手権大会/Nationals

- ◇ 以下の通り算出しチームの得点となる
 - ① 審査は各編成・部門・人数区分毎6名で行う
 - ② 6名の審査員の最高点・最低点をカットした4名の平均点を得点とする(減点がある場合は平均点から減点)
- ◇ 減点があれば平均点から引いた点数が得点となる
- ◇ 演技順は、原則として編成・部門・人数区分毎にRegionalsの得点の低い方から始まるが、この限りではない

Regionals/Nationals 共通

<減点>

- ◇ 競技規定から外れた項目に対して、1か所につき3点が減点される
- ◇ 演技の実施(完成度)に対する減点は、1カ所につき0.5点～2点が減点される
※詳細は『Show Cheer部門 演技の実施減点ガイドライン』参照
- ◇ 違反の内容によっては、減点ではなく警告または審査の対象外となる場合もある

<順位>

- ◇ 順位は各大会において、各編成・部門・人数区分毎にチームの得点(減点後)をもって決定する
- ◇ オープン部門については、各編成・オープン部門内で順位が決定する(審査は各部門の内容に準じて行われる)

9. 表彰

地区大会/Regionals

<評価>

- ◇ Regionalsに限り、競技部門を対象に、チームの得点に基づき以下の通り評価を行う(3区分)
評価の記したりボンを登録メンバー(選手・補欠)分お渡りする

チームの得点	区分
87.00 ～ 100.00	Superior
72.00 ～ 86.99	Excellent
～ 71.99	Outstanding

- ◇ 再エントリーについては、演技に対する評価リボンの配布はありません
- ◇ 審査対象外部門(Half-Time USAのみ)は、公認インストラクターによるコメントシートをお渡りする(得点は出ません)
また、スピリットにあふれるチーム・会場を盛り上げたチームは「グッドスピリットチーム」として表彰する

<入賞・特別賞>

- ◇ 表彰式は各地区大会毎に行う(2部制の場合は、それぞれ1部・2部の演技終了後)
- ◇ 各地区大会において各編成・部門毎(人数区分のある部門に関しては人数区分毎)に、得点の高い順に上位3位までを入賞とする
- ◇ 出場チームが3チーム未満の場合は、その出場数分が表彰される
- ◇ 入賞以外に特別賞(ベストインプレッション賞・チアアップ賞)を設けるものとする
特別賞の数は、大会・各編成・部門のエントリー数によって変動する
- ◇ DVD審査・再エントリーに関しては、入賞・特別賞の表彰はありません
審査内容・全国選手権大会進出など結果のお知らせについては、郵送・またはメールにて行うものとする

<全国選手権大会進出基準>

- ◇ 全国大会進出については、入賞・特別賞の受賞と関係なく、チームの得点がエントリーしている編成・部門の進出基準得点以上であることが条件となる
- ◇ 進出を判定する点数は、チームの平均点から演技の完成度に対する減点をした得点である(競技・演技規定違反の減点は反映されない)
但し、演技構成において問題があると主催者が判断した場合はこの限りではありません
- ◇ 全国大会進出チームの発表は、各大会の入賞・特別賞の表彰の後に、アナウンスにて行う
- ◇ 各編成・部門における進出基準得点は**75点**とする

全国選手権大会/Nationals

<入賞・特別賞>

- ◇ 表彰式は各日行うものとする
- ◇ 各編成・部門毎(人数区分のある部門に関しては人数区分毎)に得点の高い順に入賞が決定
※入賞枠はチーム数によって異なります
- ◇ 入賞以外に特別賞を設けるものとする
- ◇ 「グランプリ」の選出は、以下の通りとなる
3月27日(月)
 - ・中学校編成 グランプリ
 - ・高校編成 Cheerleading グランプリ
 - ・高校編成 Dance グランプリ (Hip Hop部門 ・ Spiritleading部門 ・ Jazz部門 対象)**3月28日(火)**
 - ・高校編成 Songleading グランプリ (Song/Pom部門 ・ Song/Pom Dance部門 対象)
 - ・大学編成 グランプリ
- ◇ その他、詳しい表彰内容については3月中旬頃の発表となります

【セミファイナルについて】

- ◇ 今年度より高校編成セミファイナルの実施はございません
※詳しい日程については、開催要項をご確認ください